

鹿島市から 市民の皆さまへ

鹿島ニューディール構想
(シビックセンター(公的施設)再整備構想) について



鹿島市のイメージキャラクター
かし丸くん

市民の皆さま いつも市政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、私たちのまち鹿島は、来年、平成26(2014)年、市制施行60周年を迎えますが、地域間競争が厳しさを増し、人口減少、少子高齢化が進む中、多くの課題があることも事実です。

このまま何もしなければ、鹿島は他の市町にますます遅れをとってしまうことになりかねないという危機感があります。そうならないためにも、とりわけ優先的に取り組む課題を列記した「鹿島市まちづくり推進構想」(鹿島ニューディール構想)を発表しました。

この配布物は、構想の中でも特に公的施設の再整備と再配置について、「市長と語る会」での説明内容やその後の国等の動きについてお知らせするものです。皆さんにとって安全・安心で、利用しやすく、市外からも多く人が来てもらえる施設を目指しています。

皆さまのご理解とご協力、ご意見をよろしくお願いいたします。



1 そもそも「鹿島ニューディール構想」って何？

「ニューディール」とは「新規まき直し」の意味です。この構想は下表に掲げる整備等を行うことで鹿島のまちを活性化し、地域の「中核都市として復活」するための施策をまとめたものです。平成24(2012)年6月1日に公表しました。

<構想の体系>

優先的に対応しなければならない
公的施設 (耐震補強や施設整備等)

- ① 市役所
- ② 市民会館
- ③ 生涯学習センター
- ④ 福祉会館
- ⑤ 防災センター(新世紀センター)
- ⑥ 佐賀県鹿島総合庁舎
- ⑦ 鹿島警察署
- ⑧ 中心市街地での公的施設再整備
- ⑨ JR 肥前鹿島駅
- ⑩ JA 施設

1 安全・安心のまちづくり

- (1) 防災・防疫対策
- (2) 住宅対策
- (3) 子育て支援
- (4) 新エネルギー対策

2 交通体系の整備

- (1) 道路
- (2) 鉄道
- (3) 公共交通(市民の足)

③ 様々な施設の再整備

- (1) 公的施設の再整備と再配置
- (2) 市街地再開発

4 産業振興

- (1) 就業の場の拡大
- (2) 交流人口の拡大

これを「鹿島市シビックセンター再整備構想」と総称します



2 この構想を出した理由は？

佐賀県は、施設の老朽化対策や耐震対策で、「H28.4.1までに耐震化を終了させる」ことを目標とし、総合庁舎の移転を検討しています。法務局や保健所、教育事務所が市外に移転しており、現地機関として重要な役割を果たしている「総合庁舎の市外移転を防ぐ」というのが本構想の根底にあります。



3 総合庁舎を市内に残すためにどうするの？

もともと、本市防災機能の充実を図る必要性もあったことから、公的施設が集積している市役所周辺に、新たに「防災センター（新世紀センター）」建設を計画しています。

避難所としてはもちろん、この施設に県機関が入り、鹿島市消防団本部や市役所の関係部署も同じ施設に入ること、防災・防疫機能の充実、県と市との連携強化、公的施設の集約などを実現しようというものです。



4 「鹿島警察署」はどうか？

市外には移転しません。国道207号バイパス沿い(中村地区)に、新「鹿島警察署」が建設される計画です。(H28完成予定。工事期間：H26～27)



5 市の施設はどうか？

福祉会館にある施設や、市民の皆さまから常設の要望がある「子育てひろば」を、次の6の理由から中心市街地に配置したいと考えています。



6 公的施設を中心市街地に配置する効果は？

中心市街地にある商業施設の空きスペースを活用し、行政・福祉・子育て支援・商業など、都市の維持のために特に必要な機能を集約させ、子どもから高齢者の方まであらゆる年齢層の方が施設を利用することにより、中心市街地の活性化、交流人口の拡大が期待されます。

さらに、市街地と連結するJR肥前鹿島駅周辺を整備することで、その効果をさらに高めます。



7 中心市街地活性化計画はいつからあるの？

中心市街地の活性化については、平成11年3月、中心市街地における基本整備方針を示した「鹿島市中心市街地活性化基本計画」を策定しています。

しかし、国の三位一体改革等による地方交付税等の削減により、鹿島市の財政状況も厳しさを増していたので、生涯学習センター「エイブル」建設以降、新たな投資は極力抑えてきました。

行財政改革により財政状況が好転したことや、国の補助制度の新設もあり、「中心市街地活性化に再度取り組もう。賑わいを取り戻そう」という趣旨から、「鹿島ニューディール構想」を策定し、「市長と語る会」等で考えを示しました。



8 公的施設を移転して中心市街地活性化と言うけど、移転先が何で「ピオ」なの？

福祉会館施設移転先について、「ピオ」を含め中心市街地の複数の既存施設を比較検討しました。

その結果、商業施設「ピオ」の空きスペースの活用とした理由は、①広いフロア、②駐車場の確保、③周辺の医療機関や商店街と連携があるからです。

特に、広いフロアは魅力で、あらゆる年代の方や「子育てひろば」など市外からも来てくつろげるコミュニティスペースが十分にあり、いろんな施設を集中して効率よく配置できます。また、医療機関やバス停等も近接していますので、待ち時間等にも利用いただけます。

このように、これまでランドマークの役割をも果たしてきた「ピオ」に公的施設を配置することは、中心市街地の活性化や交流人口の拡大につながるものと考えています。

鹿島シビックセンター再整備構想（公的施設の再整備・再配置）のイメージ図

佐賀県施設

鹿島総合庁舎（西牟田地区）

- ・土木事務所
- ・農林事務所
- ・農業改良普及センター



防災センター（新世紀センター）への移転を提案しています

防災センター（新世紀センター）

移転

消防団本部

市役所

消防・防災部門の移転

市民会館

エイブル

中川エリア

福祉会館



社会福祉協議会、鹿島公民館、すこやか教室など

福祉会館施設の移転

中心市街地エリア

市民交流プラザ（仮称）



- ・JR 肥前鹿島駅、バスセンター等の公共交通機関
- ・医療機関、銀行、郵便局
- ・スカイロード、さくら通り、既存の中心商店街 など

上記の施設が集積している中心市街地に、福祉や子育てひろばなどの施設を配置し、歩いて暮らせるまちづくりを目指します。



鹿島警察署（乙丸地区）



新 鹿島警察署（中村地区）



市内移転が決定

建設予定地

佐賀県は、H28.4.1までに耐震化を終えることになっており、「総合庁舎」と「警察署」が移転の対象になっています。



子どもから高齢者の方まであらゆる年齢層の方の居場所づくり・賑わいの創出



9 ピオの何階に市の施設が入る計画なの？

3階4階部分を鹿島市が「区分所有（取得）」して、子育て世代から高齢者まで、「あらゆる世代の居場所づくり」となるような施設を配置したいと考えています。（福祉会館施設の移転や子育てひろばの常設など）

市民交流プラザ(仮称)

屋上	市民ひろば 憩いのひろば	} 鹿島市が 区分所有
4階	子育て支援施設など	
3階	地域コミュニティ施設 高齢者福祉施設など	
2階	民間施設フロア	
1階	民間施設フロア	
地下	民間施設フロア	



～「商業施設」から「市民交流プラザ」へ～
 どのような施設があればいいですか？ 利用しますか？
 「こんな施設があったら楽しい」「こんな活用法がある」など市民の皆さまのアイデアをお寄せください。
 （7月1日号市報やHPにアンケート用紙を掲載する予定です）



10 財政は大丈夫なの？

今回、福祉会館の施設などを「ピオ」の3階4階に移転する際に生じる工事経費には、国が新設した「地方都市リノベーション(再整備・再配置)事業」という有利な補助事業が適用されます。（事業費の50%が国の補助。5月16日内示）行財政改革により本市の投資余力もある程度出てきました。

また、ピオにおいては、国（経済産業省関係）の「商店街まちづくり事業」という有利な支援制度の採択を受けました。（最大で事業費の3分の2補助。5月31日内示）

これら国の有利な補助がある今、市財政状況が回復した今がチャンスであり、永年の課題であった中心市街地の再生・活性化のためには今回がラストチャンスだと考えています。

市民交流プラザ（中心市街地の商業施設「ピオ」への公的施設整備）事業経費（単位：百万円）

総事業費 1,233			
鹿島市分の事業費 893		ピオ分の事業費 340	
(国庫補助金 434)	(鹿島市負担 459)	(ピオ負担)	(経済産業省補助)

※ 総事業費には、市が取得する3階4階部分の取得費、市及びピオが行うそれぞれの基幹工事、設備工事、内装工事の費用が含まれます。

※ これに関連する予算は、鹿島市議会6月定例会に提案しています。

建設市債（借入金）の状況

・残高のピーク 138億円（H12） ⇒ 46億円（H24）



鹿島市 総務部 企画財政課
TEL 0954-63-2101, FAX 0954-63-2129

詳しくはホームページをご覧ください

鹿島ニューディール構想

検索